

令和7年度 学校評価報告書

学校名	三田市立学園小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

「仲良く 元気に がんばる子」 ～自らをみがき 未来をひらく こころ豊かな児童の育成～
--

3 総合的な自己評価

3年間「一人ひとりを大切にする集団づくり」をテーマに心の教育に取り組んできた。昨年もかなり学校生活が落ち着いたが、さらに安定した人間関係の下学校生活を送ることができた。人権教育・道徳教育の充実が様々なところへ浸透していつていると感じる。3年間の道徳科の授業研究を通して蓄積した、深く考える「楽しい」授業を構築するために大切なことは、教員の他教科の授業改善にも、子どもたちの普段の生活の向上にもつながっている。また体験学習等の機会を各学年増やし、五感を使った活動を展開することができた。様々な体験を通し、心身ともに成長が見られた。今後の課題については、具体的な提言、改善の方向性や手立てを検討して次年度に引き継いでいく。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目（取組内容）	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	教育課程の編成（週時程・日課表・行事等）は適切である。	・適切である。朝読書や朝の学習を取り入れていることで、落ち着いて朝のスタートができています。	・朝学習、朝読書をすることで一日のスタートが落ち着いた雰囲気ではじめられたことから継続して取り組む。	・教職員の働き方改革が進み、先生たちの心の余裕ができれば、それは子どもたちへの学びの充実につながる。適切な教育課程の下、学校行事等を活性化してほしい。
	各教科・領域における授業時数は適正に確保できている。	・学期始め、学期末の各学年の6校時授業の日を減らしたが、授業時数は適正であった。	・学年末の授業時数を見直し、よりゆとりが持てる年間授業時数を設定する。	
学習指導	児童が主体的に学習に取り組める授業を展開できている。	・学校評価児童アンケートにおいて「学習の内容がわかりますか」のプラス評価は、94％であった。また、保護者アンケートでは、86％のプラス評価をいただいた。	・教材教具の工夫や学習サポート体制の充実を図り、児童がより「わかった」と実感できる授業づくりに励んでいく。	・全国学力・学習状況調査において、すべての教科で全国平均を上回っている。学校を挙げて、授業の工夫をさせていただいている成果が出ている。 ・家庭学習は保護者が子どもをしっかりともてもらわないといけないが、保護者も今の時代忙しく、なかなか見られないのが現状である。家庭での学習習慣を身に着けさせるためにしっかりとした「習慣づけ」を身につけさせる適量の学習を学校から毎日設定し、子どもたちに学ぶ姿勢を身に付けさせてもらいたい。
	個に応じた授業の工夫ができている。	・めあてを提示して、子どもたちに見通しを持たせて学習に取り組むことができた。 ・指導補助体制を組み、個別の支援に取組んだ。	・視覚優位や聴覚優位なども考慮し、板書の工夫やタブレットを活用する。 ・がんばりタイムや特支アシスタント等支援員の活用を図り個別の支援を充実させる。	
	読み・書き・計算の基礎的な学力をしつかりと身につけさせている。	・国語においては、子どもたちが興味を持ち、分かりやすい授業づくりを意識している。漢字の習熟にも力を入れ、成果を上げている。また、読書活動により、語彙を獲得する機会が確保されている。 ・算数においては、継続して取り組んでいる朝学習によって基礎の力は定着しつつある。	・家庭学習の定着が今後の学習姿勢にも繋がることから、日々の学習について成長段階に合わせた適量の課題設定をする。 ・朝学習やドリルパーク等を継続し充実させる。	
生徒指導（生活指導）	学校の決まりやマナーを児童が身につけるように教職員で共通理解し指導している。	・生活指導委員会で月目標を設定し、朝会で子どもたちに呼びかけるなど、学校生活向上に向けて取り組めた。	・時間を守る、忘れ物をしない、話をしている人の方を見るなど当たり前のことを当たり前に行えるよう、今後も根気強く取り組む。	・スマホの問題については、フィルタリングをかける、約束事を遵守させる等、保護者が責任をもって管理していくのが望ましい。ショート動画は、子供の成長によくないといわれ始めている。しかし、優良なコンテンツもあるので効果的に使えるようになるよう、子どもたちの情報活用能力を高めていくことも大切である。 ・毎年挨拶についての課題が上がっている。これについても「習慣づけ」が必要である。コミュニケーションの基本でもあるので挨拶ができるように朝だけでなく様々な場面で挨拶をしてほしい。また、保護者や地域の大人も積極的に子どもたちに挨拶をしていくようにまちづくり協議会でも依頼し、地域全体で子どもたちを見守る、そのような街になってほしい。
	児童がすすんであいさつできるように指導にあたっている。	・学校評価保護者アンケートの結果から、肯定的評価が 80％で、昨年と比べると2％増加しているが、否定的評価が 20％と他の項目よりも高くなっており、本校の課題の一つに挙げられる。	・日々の生活や計画委員会のあいさつ運動などに引き続き取り組み、保護者や地域の方々と協力して、あいさつの大切さを発信し定着させていく。 ・児童会のあいさつ運動や保護者、児童への啓発を引き続き行う。	
	いじめや不登校の問題に対して見逃すことなく組織的に対応している。	・些細なことでもいじめの可能性を前提にいじめ対応チームを招集し、組織的に解決に向けての方向性を確認することができた。 ・月1開催の校内・生徒指導委員会や職員会議の際に気になる児童の様子を交流し全教職員で共通理解することができた。	・学校評価アンケート(保護者・児童)の人権意識を問う項目で、97％の肯定的評価を得たが、それに安心することなく、3％のマイナス評価に光を当てて取り組みを進めていく必要がある。 ・いじめの認知について、被害者の保護者からの連絡で発覚することが多い。日常の些細な子どもたちの変化を見逃さないよう教職員同士の情報交換が必要である。	
開かれた学校・地域・保護者との連携	学校教育目標を理解し、家庭・地域・社会とつながる教育を推進している。	・ながしお農園へ訪問し、イチゴハウスの手伝いをしたり、ジャムづくりで交流したりした。多くの地域のボランティアの方々へありがとう朝会で感謝の気持ちを子どもたちが伝えることができた。	・地域社会の課題や未来の姿を踏まえ、学校と地域・保護者が「どんな子どもを育てたいか」を考え共有し合うことが必要である。 ・校外学習での体験活動が増加してきたが、SDGsや社会とつながる学習や活動の設定をし、さらに充実させる。	・子どもたちの生き生きした顔を保護者や地域の方へ発信いただくことでボランティアにも参加しやすい。学校を中心に地域が活性化していくことを期待する。 ・本年度はすべての学年で校外学習等の体験的な学習を行っている。また外部人材にも来てもらい、様々な体験をさせてもらった。子どもたちにとってとても良い経験になっている。
	保護者や地域の方の情報や願いを聞く機会を積極的に持っている。	授業参観、人権参観、学級集会、個人懇談など保護者に来校していただく機会が増え、保護者の思いを聞く機会を持った。	・地域の方々との関わりはまだ十分とは言えない。学校運営協議会等で地域の方の情報や願いを把握したい。	
	PTA・学校支援ボランティアとの連携により、教育環境整備を行い、地域の核となる学校づくりをすすめる。	ミシンボランティアや音楽会の器楽ボランティアなど子どもたちの活動支援に多くの方々に助けていただき、行事等を行うことができた。	・クラブ活動や学級活動などに地域の方々やボランティアの方々に参加いただき、子どもたちの交流活動を活性化していく。	

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
2学期	教職員による学校評価、児童・保護者アンケート実施
3学期	教職員による学校評価、児童・保護者アンケート結果公表
行事ごと	保護者へのアンケートの実施

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む
※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
4月・5 月	学校だより	学校教育目標等の周知	
3月	学校だより	学校評価の結果及び今後の改善策等を記載し保護者に配布	○
3月	学校ホームページ	学校評価の結果及び今後の改善策等を掲載	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います

2 今年度の学校重点目標

①確かな学力の育成 ②特別支援教育の充実と推進 ③生徒指導の充実 ④人権教育・道徳教育の深化・充実 ⑤防災教育・健康・安全の充実 ⑥社会に開かれた教育課程の推進 ⑦心身の健康と風通しの良い職場風土
--

4 総合的な学校関係者評価

◇3年間道徳科の研究に取り組み、児童が自ら道徳性を養い、各クラスにおいて、子どもたちが安心・安全に過ごすことができる土壌ができていることが評価できる。教員も、外部講師の力を借りながら、自身の授業改善に努めていることが評価できる。得られた授業改善の視点を、今後様々な教科にも広げていつていただきたい。 ◇「あいさつ」は地域としても課題だと感じる。今の世の中では、声をかけにくい雰囲気もあるが、「あいさつ」は、子どもたちがこれから様々な人とつながり、自分を成長させていくうえで大切なアイテムであるので、地域としても大切に考えていきたいと思う。家庭によって差があることも考えられるので啓発していただきたい。
